



# 東 一 中 だ よ り

文京区立第一中学校

校長 山内 卓司

【教育目標】○進んで学習し、よく考える人 ○責任を重んじ、思いやりのある人 ○心身ともに健康でねばり強い人

## 「不完全さは未来の可能性（イチロー選手の言葉より）」

校長 山内 卓司

今年もあつかわずか、みなさんにとってどんな1年だったでしょうか？

先日、読売新聞で読者投票による「今年の国内外の10大ニュース」が発表され、国内は『大阪・関西万博開幕』、国外は『第47代米大統領にトランプ氏が就任』が1位に選ばれていました。

みなさんは、どんな出来事が心に残っていますか？

私が1番心に残っているのは、1月にイチロー選手が日本人で初めてメジャーリーグの殿堂入りに選ばれたことです。そして、その時のインタビューで語った言葉が、この一年で最も感銘を受けた言葉でした。

その言葉を伝える前に、イチロー選手の偉業と殿堂入りについて簡単に説明します。

イチロー選手はメジャーリーグで19年間プレーし、通算3089安打（歴代25位）、10年連続200本安打、シーズン最多安打262本（2004年）、シーズンMVP・新人王・首位打者、ゴールドグラブ賞（10回）など数々の記録を打ち立てました。

そして、米国の野球殿堂は、現役10年以上の記者による投票で、得票率75%以上を獲得すれば選ばれます。イチロー選手の活躍は誰もが認めていたので、今回選ばれることは確実視されていましたが、過去に一度だけあった『満票』での選出になるかどうかがとても注目されていました。

結果は384人中、383票を獲得し選出はされましたが、『満票』には一票足りませんでした。その時、記者から「満票に一票足りなかったことをどう思うか」と聞かれ、こう答えました。

「一票足りなくて良かった。人は生きて行くうえで不完全だから前に進もうと思う。そういうことを改めて考えさせられるというか、見つめ合える。そこに向き合えるのが良かった。」

イチロー選手のもつ人生哲学の凄さを感じられる言葉でした。

「完璧じゃないことは悪いことじゃない、むしろ前に進む力になる」という素晴らしいメッセージです。私自身まだまだ不完全ですが、少しでも成長できるよう努力を続けたいと思います。

みなさんも不完全さは弱点ではなく未来の可能性です。失敗を恐れず、挑戦する楽しさを忘れないでください。来年もお互いに頑張りましょう。

それでは、来年がみなさんにとって今年以上の飛躍の年になることを願っています。

保護者の皆様、本年も本校の教育活動にご理解と温かいご支援をありがとうございました。来年も引き続きよろしく願いいたします。どうぞ良いお年をお迎えください。